

企業グループ

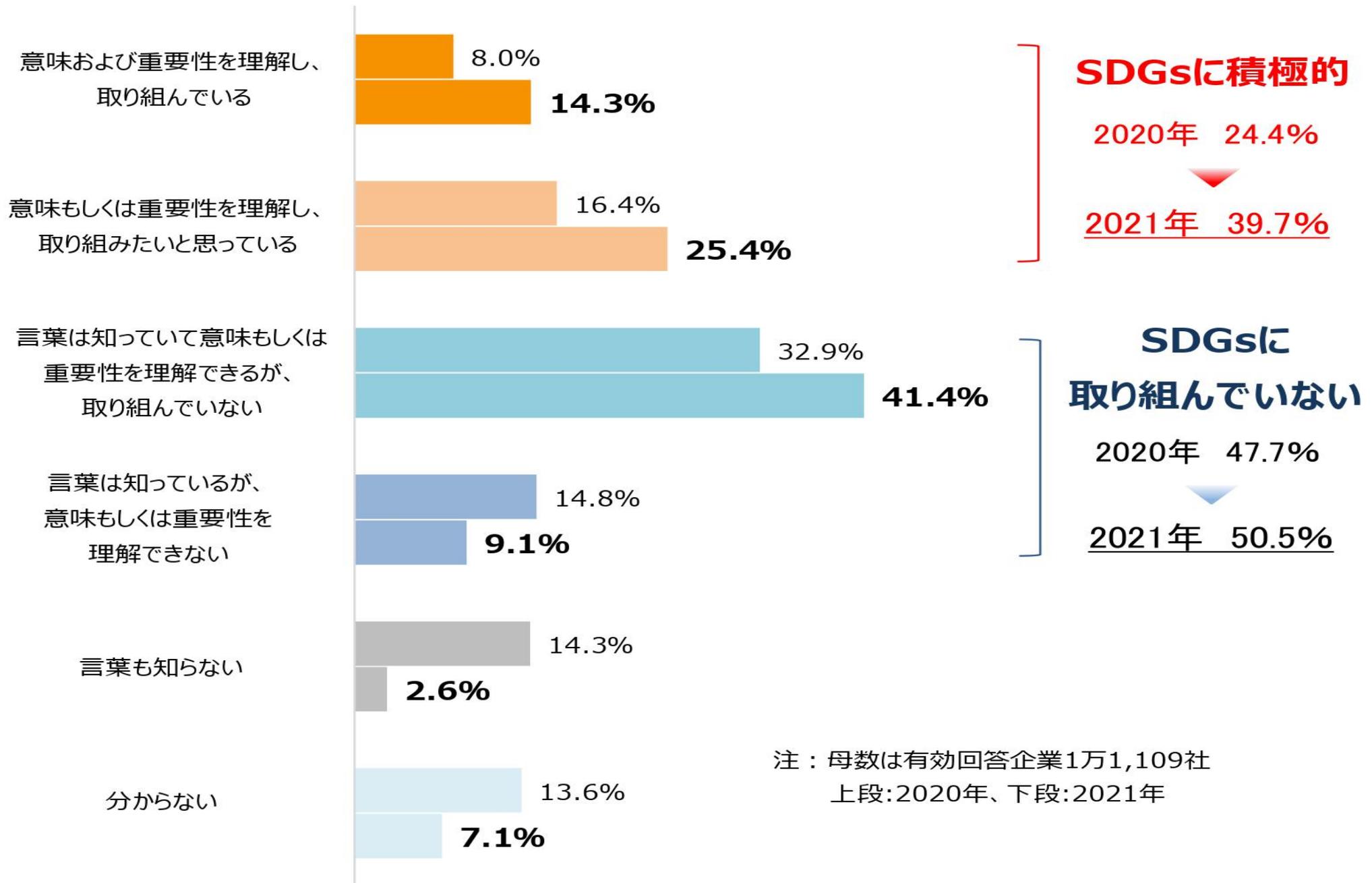
- ▶ 太田明子ビジネス工房 代表 太田明子
- ▶ 株式会社 北翔 代表取締役 清水誓幸



北海道内企業の

SDGsへの関心は高まったか？

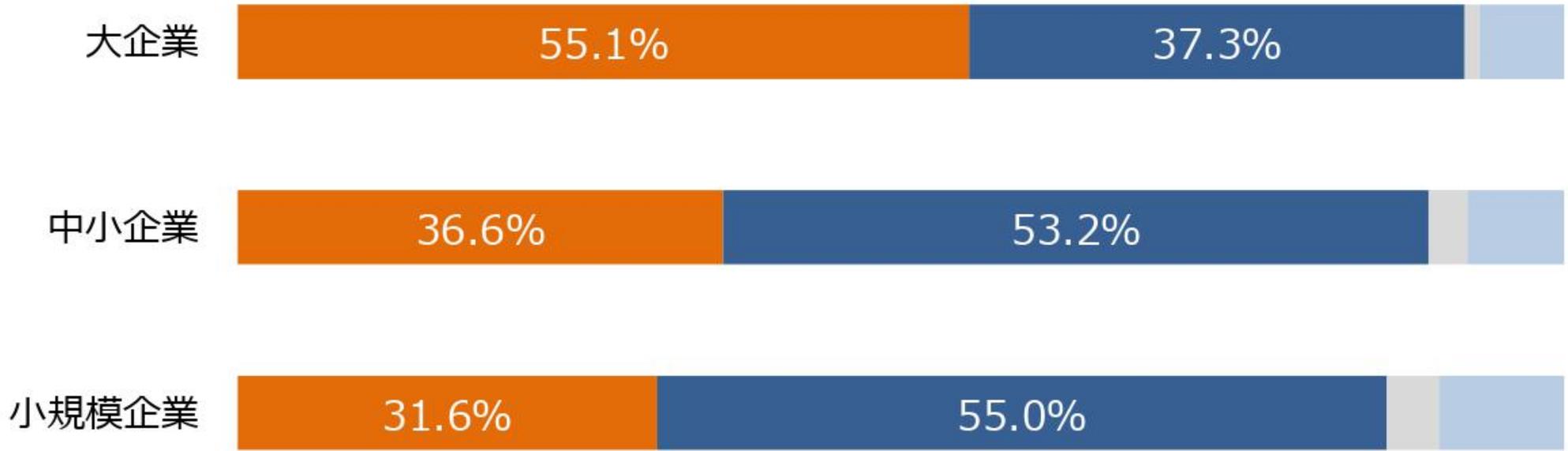
SDGs への理解と取り組み



注：母数は有効回答企業1万1,109社
上段:2020年、下段:2021年

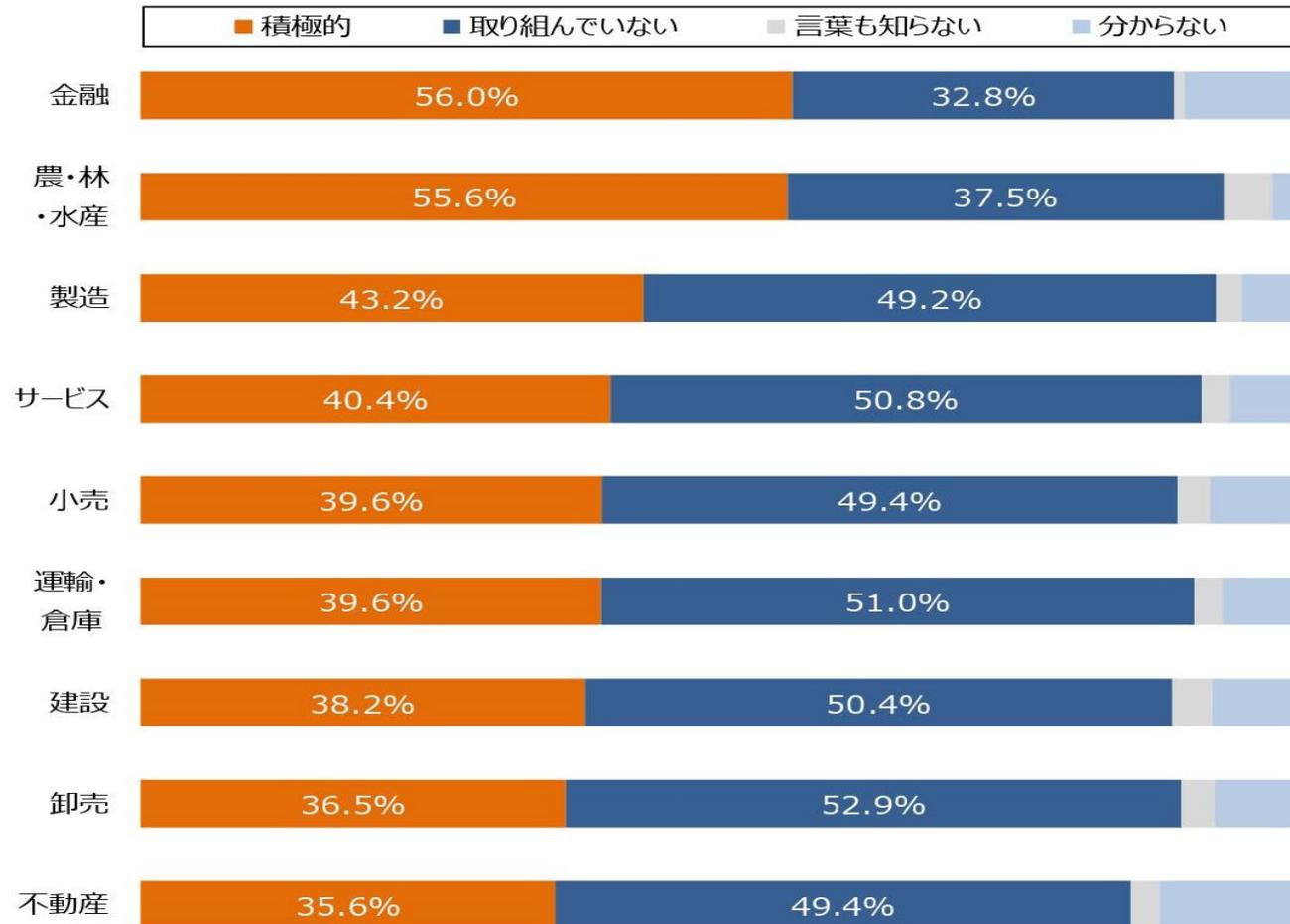
規模別の意識

SDGs に対する企業の意識 ~規模別~



業界別の意識

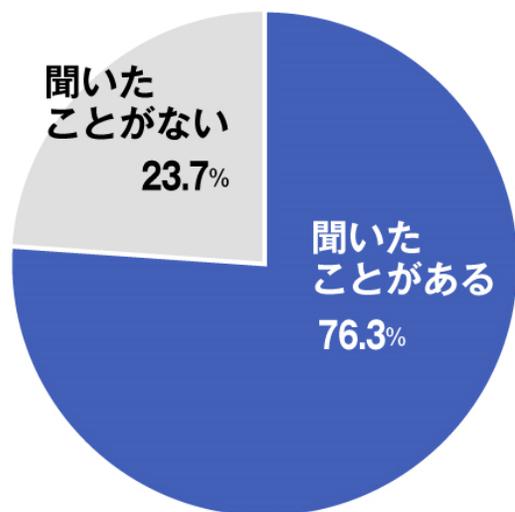
SDGs に対する企業の意識 ~業界別~



では 市民はどうなのか？

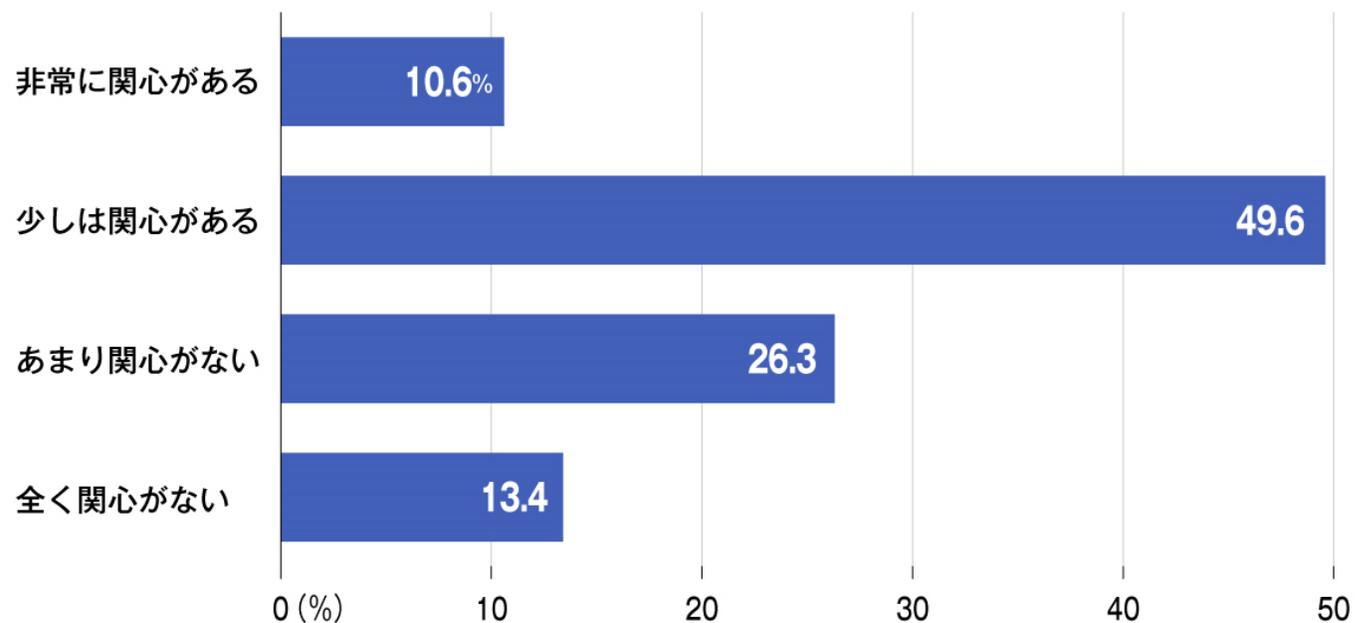
あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか

全体 (n=5000)

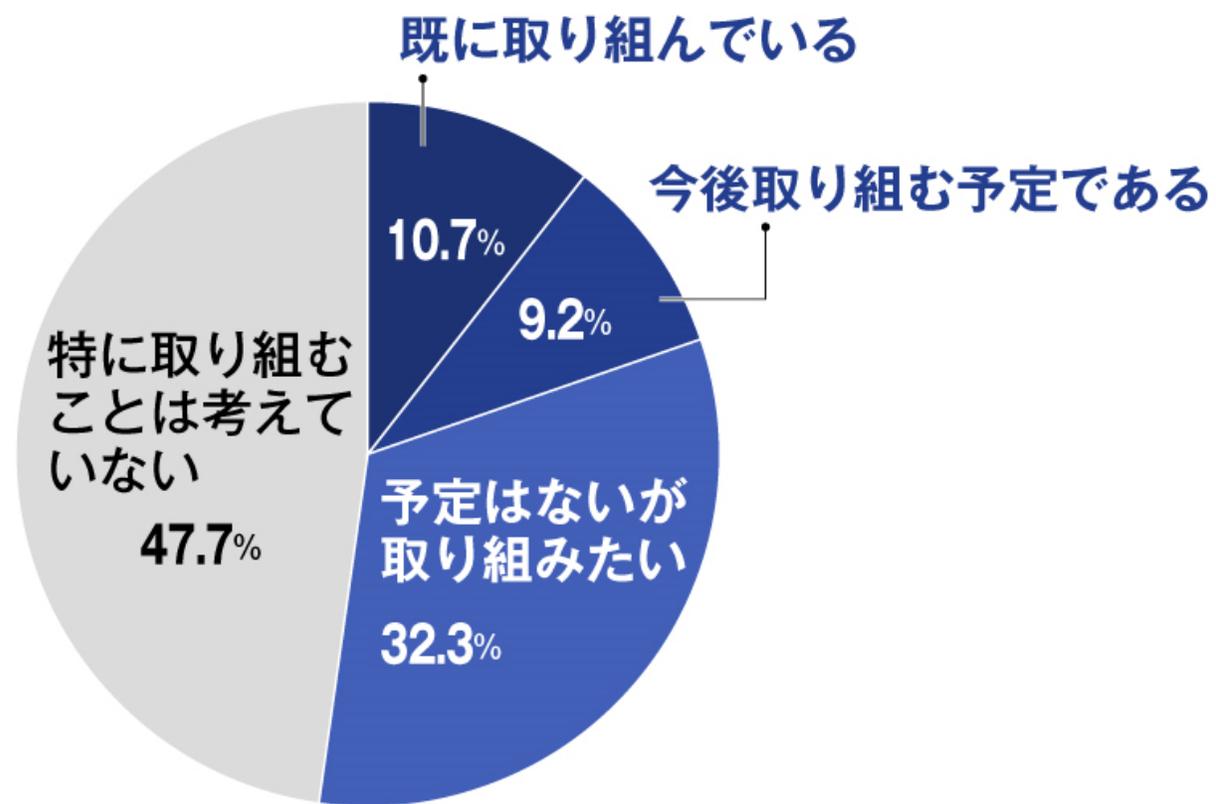


あなたはSDGsにどの程度関心がありますか

※n=3816 ※「SDGs」という言葉を聞いたことがあると答えた人が回答



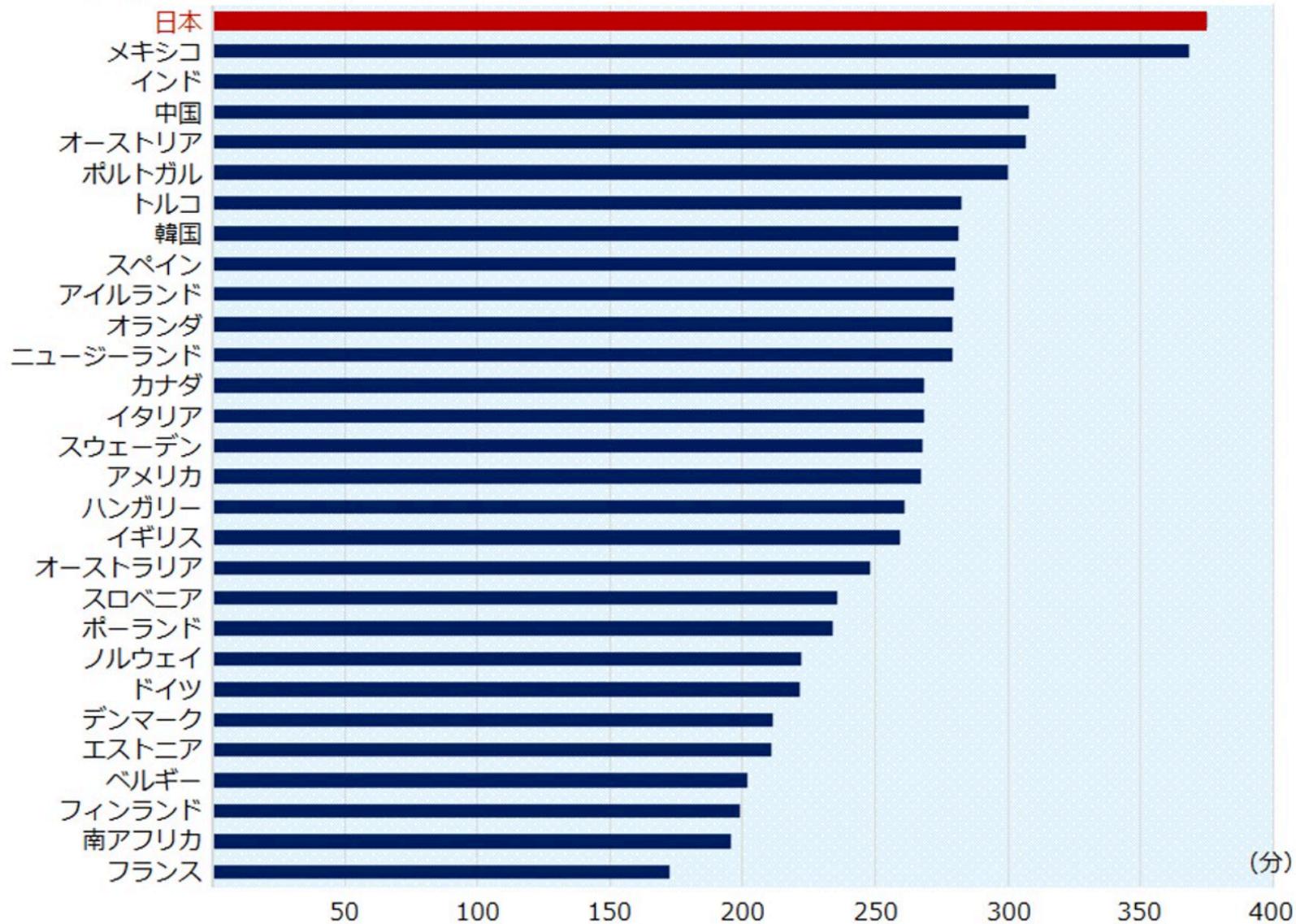
SDGsに関する取り組みを、企業や団体、または個人として行っていますか。
または、今後取り組みたいと思いますか ※n=5000



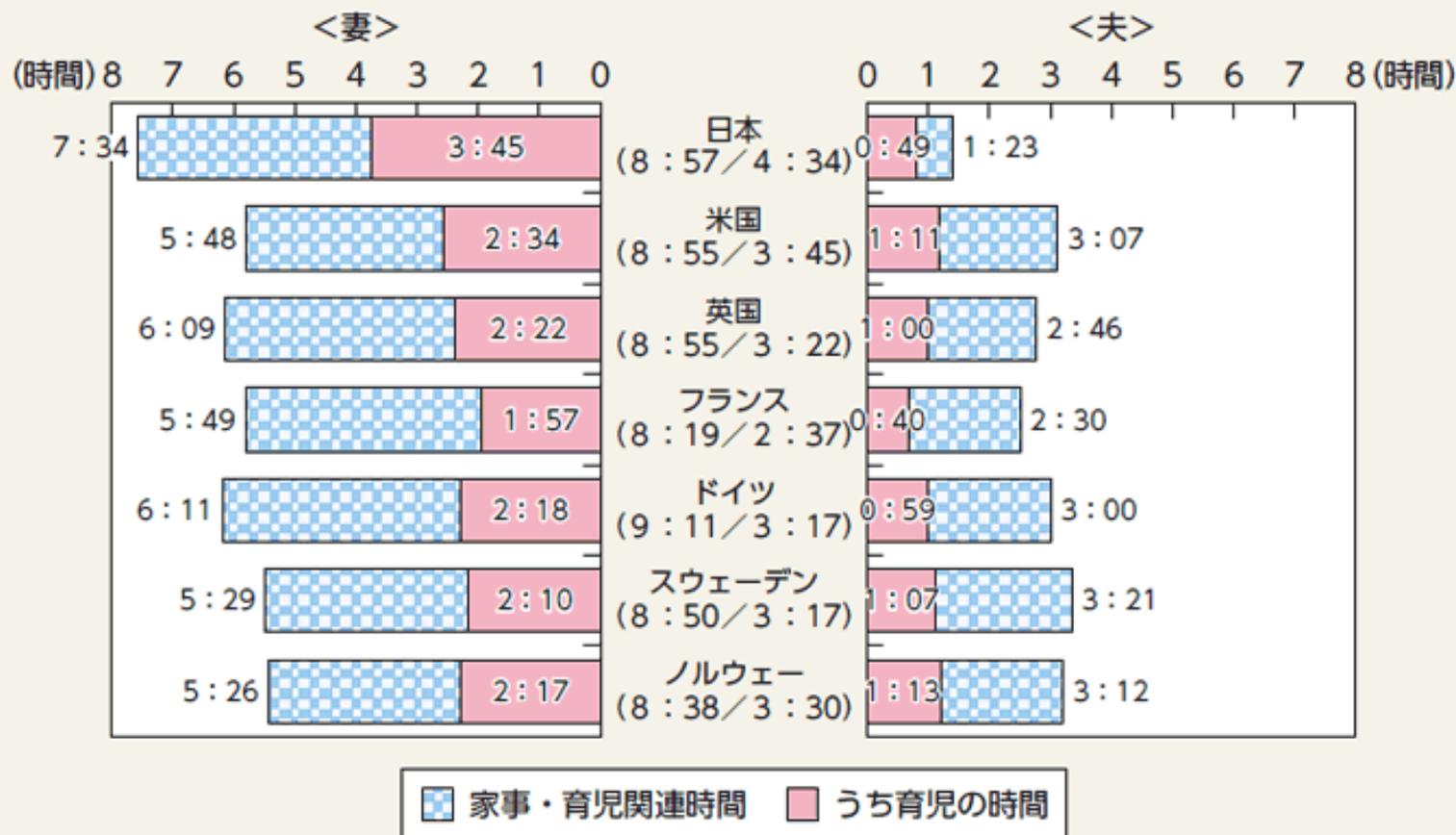
日本人の労働時間と賃金

- ▶ 年間労働時間 1598時間 世界24位
- ▶ 正規雇用者の年間労働時間 2018時間 420時間多い
- ▶ 短時間労働者 1093時間 925時間の差
- ▶ 男性単体の労働時間 世界1位
- ▶ 平均通勤時間 片道 39分 往復 1時間18分
- ▶ 賃金 先進国の中で唯一 20年間でマイナス

男性1日当たりの平均労働時間（休日も含む・2014年発表データ）



図表 2-2 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



- (備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成28年), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2018) 及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。
2. 日本の値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」, 「介護・看護」, 「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)。
3. 国名の下に記載している時間は、左側が「家事・育児関連時間」の夫と妻の時間を合わせた時間。右側が「うち育児の時間」の夫と妻の時間を合わせた時間。

男性の働き方を変えなければ！

- ▶ 社会課題への関心が深まらないのでは？
(企業がSDGsへの号令かけても、無関心・・・)
- ▶ 家事・育児は妻任せで良いのか？
(出産後の夫婦による鬱は増えている)
- ▶ 賃金も上がらず 非正規雇用などでワーキングプアも増えている

話題は変わるが

- ▶ SDGsに対する企業の関心度も取組も広がっている
- ▶ しかし、トレードオフもSDGsウォッシュも同時に発生している
- ▶ これに対して何処も誰も 「評価」 していない
- ▶ このまま 「SDGsやっています！」 の表現で良いのか？ ？ ？
- ▶ 疑問を感じている・・・

▶ 建設業でも脱炭素推進 発注工事に新制度 開発局、道、札幌 4月から

▶ 開発局と道、札幌市は4月、3者が発注する工事で燃費効率の良い重機や再生可能エネルギーの利用など脱炭素の取り組みを行った業者を、翌年度の入札で優遇する制度を導入する。行政が主導して公共工事で脱炭素を促すことで、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「カーボンニュートラル」の取り組みを建設現場で普及させる狙いだ。

この様な動きに 「不安」 感じませんか？

私たちはど
のような企
業を目指す
のか。

- ▶ 社会の多様性に応じて変革し続ける 企業
- ▶ 社会や社会活動の循環の中で、自社の起つ位置を強く持つ企業
- ▶ 事業が社会課題の解決につながる取組を行う企業
- ▶ フェアな取引が常識の企業
- ▶ 社会の全ての人に向き合い、ダイバーシティ化
インクルーシブ化を図る企業
- ▶ 人の豊かさを追求し続ける企業